

【連絡先】国民民主党茨城県第5区総支部(浅野さとし事務所)

国会事務所

〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館406号室
TEL: 03-3508-7231
FAX: 03-3508-3231

日立事務所

〒317-0071
茨城県日立市鹿島町1-11-13
TEL: 0294-21-5522
FAX: 0294-21-3014

公式サイト

<https://asanosatoshi.com/>



新春スペシャル対談企画!

日立市の未来を語ろう



衆議院議員

浅野さとし



日立市長

小川春樹

2021年新春を迎えるにあたり、小川春樹 日立市長との特別対談を実施しました。

昨年は県内でも新型コロナウイルス感染症の拡大により、日立市内に暮らす皆さまもこれまでとは違った生活様式を余儀なくされました。そこで、市内のコロナ対策状況と2021年の展望について語りました。(コロナ感染防止のため今回は書面对談とさせていただきました)

新型コロナウイルス感染症対策の状況について

浅野 昨年は新型コロナウイルス対策のため小川市長をはじめ市議会議員、市職員の皆さんが大変なご苦勞を重ねられてきた事に敬意を表します。国も医療提供体制の拡充や地方創生臨時交付金の交付、中小企業支援等に取り組んでいますが、いまだ収束には至っていません。これまでの市内状況や今後の対応策について教えてください。

小川 あけましておめでとうございます。

はじめに、浅野議員におかれましては、事業者の皆様、とりわけ現場で働く皆様の切実な声に丁寧寄り添いながら、国政の舞台において、新型コロナ対応に日夜ご尽力されておりますことに、深く敬意を表します。また、コロナ対策に係る地方創生臨時交付金など、国からの支援に際しましては、浅野議員に多大なお力添えを賜り、本市のコロナ対策において、有効に活用させていただいております。この場をお借りしまして、改めて感謝を申し上げます。

日立市の感染状況といたしましては、昨年4月に市内で初めて感染者を確認して以来、これまで104名の方の感染が確認されています(令和3年1月17日時点)。特に、1月に入ってから全国的に感染が急速に拡大しており、都市部を中心に緊急事態宣言が発出されるとともに、茨城県においても感染者数の急増を受け、県独自の緊急事態宣言が発令されました。本市におきましても1月に入ってから感染者数が70名を超えており、極めて深刻、かつ緊迫した局面を迎えていると認識しております。

こうした中、日立市では、市民の皆様の安全と安心を最優先に、市内医療機関や小中学校における感染症対策の推進、妊婦や一人暮らし高齢者へのマスクの配布など、感染症の拡大防止のための取組を進めてまいりました。市民の皆様に対する、注意喚起と感染症予防の徹底の呼び掛けも私自ら行ってきたところです。また、中小企業に対し、専用の相談窓口を開設し、資金繰りへの支援や雇用を守るための支援などを実施するとともに、コロナ禍において特に大きな打撃を受けた飲食店や小売店を支援するための事業を実施するなど、地域経済の活力をしっかりと取り戻すため、日立市独自の様々な取組を積極的に進めてまいりました。

未だ先の見えない状況が続いておりますが、今後、国や県の指針に基づき、感染防止対策を迅速に、そして的確に実施するとともに、マスクの着用や3密の回避など、市民の皆様に取り組んでいただきたい感染防止対策について、あらゆる機会をとらえて、繰り返し周知徹底を図ってまいります。そして、「すべては市民の皆様のために」を合言葉に、市内の各部・各課はもとより、関係機関や団体なども連携、協働し、一丸となって感染症の拡大防止、そして市民の皆様の生活支援、事業者の皆様への支援に、引き続き全力を持って取り組んでまいります。

浅野 昨年1年間の日立市の様々な取り組みを拝見し、まず感じたのは日立市のスピード感でした。職員の皆さんの努力や幹部の皆さんの意思決定の速さに頼もしさを感じた市民は多かったと思います。直近では県北での感染者数も増加しており、医療機関や医療・介護従事者への支援は必要性が増しています。引き続き、臨機応変な対応をお願いいたします。

ポストコロナ時代を見据えた日立市の対応について

浅野 新型コロナウイルス感染症が流行して以降、「3密」を回避しようと地方に転居したり、実家に戻る若い世代が多くなってきていると聞いています。私は、ポストコロナ時代は東京などの大都市圏にわざわざ行かなくてもデジタル技術やテレワークによって社会活動が円滑にすすめられる社会になっていくと思っています。日立市としてもテレワーカーをはじめ地方移住を希望する人々を受入れる環境整備を進めていると思いますが、その内容と今後の展望を教えてください。

小川 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、テレワークの普及は、「働く場所」と「住む場所」を柔軟な関係へと変化させ、これにより地方移住への関心が高まるなど、人々の意識や行動にも大きな変革をもたらしつつあります。

このことを踏まえ本市では、機を捉えた移住促進を図るため、昨年10月1日に、移住に関する総合的な相談対応・案内を行う「移住相談窓口」を開設するとともに、県内初の制度として、テレワーク移住者に対し最大151万5千円を助成する「ひたちテレワーク移住促進助成制度」を開始しました。また、昨年12月には、移住者が金融機関から住宅ローンを借り入れる際の利率を大幅に軽減して下さる協定を、市内店舗の各金融機関と締結させていただきました。

さらに、首都圏をはじめとする県外にお住まいの方々に、本市の魅力や制度の内容を、ピンポイントで伝えることが重要であるため、仕事、住まい、子育て支援等に関する情報を一元的に発信する「日立市移住ポータルサイト」を開設するとともに、茨城県と連携したPR活動等を進めているところです。

今後は、海、山などの自然環境や温暖な気候、様々な観光資源等を生かし、独自性と優位性を持った本市ならではのサテライトオフィスなどの開設や、ワーケーションの推進に向けた環境整備、そしてより一層のPR活動等について、新型コロナウイルス

ス感染症の状況を見極めながら検討を進め、さらなるテレワーク移住を促進してまいりたいと考えております。

浅野 ポストコロナの時代は、東京近郊の地域に人々が活動拠点を移すケースが増えていくと思います。特に高速道路や鉄道沿線上の地域はそのチャンスに恵まれるでしょう。日立は恵まれた自然環境など地域の魅力を多くの人々に知ってもらう取り組みが重要ですが、テレワーク世代が暮らしやすいインフラ整備も必要になってくると思います。私としてもこの機会を地域の発展に繋げられるよう、国から十分な支援を引き出すために汗をかきたいと思います。

政府への要望と 国会への期待について

浅野 昨年は地方自治体における新型コロナ対策のため3兆円の地方創生臨時交付金が交付され、日立市においても医療現場の支援や飲食・小売の割引など幅広く活用されました。その一方で、コロナ検査体制の強化やワクチン接種への対応、雇用・経済の回復、教育や福祉の下支えなど多くの課題が残されています。政府への要望や国会への期待について教えてください。

小川 ご紹介いただきましたように、日立市では、地方創生臨時交付金としてこれまでに約17億5千万円の配分をいただき、医療機関や高齢者、小中学生などへのマスクの配布を始めとした「感染拡大の防止」や、市内飲食店の利用を促進する「おうちでひたちごはん」のほか、小売店、宿泊・交通事業者等に対する支援といった「暮らし・地域経済の確保」など様々な分野に活用させていただきました。改めまして、浅野議員には、こうした交付金の確保につきまして特段のご配慮をいただき、心から感謝を申し上げます。

一方で、全国的に感染が再拡大するなど、新型コロナウイルスへの対応は予断を許さない状況が続いており、今後も幅広く、切れ目のない支援に取り組んでいく必要があります。

また、第3波ではこれまで以上に、医療提供体制のひっ迫が懸念されています。日立市は、深刻な医師不足という課題を抱えており、更に高齢化率も高いことから、ひとたびクラスターが発生すれば、県北地域全体の医療崩壊にもつながりかねません。

さらに、コロナ禍の影響は多方面に及び、人々の生活様式や働き方、価値観等に急激な変革をもたらし、東京都の人口移動が5か月連続で転出超過となるなど、東京一極集中の流れさえも変えつつあります。

こうした状況下において、浅野議員をはじめ、国会議員の皆様には、感染拡大防止と社会経済活動の両立に向けた対策に必要な財源の確保について、地方創生臨時交付金の継続を含め、政府への働きかけをお願いいたします。

加えて、人的支援を含めた地域医療体制への支援強化、並びにデジタル・ガバメントの推進やテレワークを契機とした移住促進策などの「新しい日常」の構築に向けた自治体の取組についても、ぜひお力添えをお願い申し上げます。

浅野 分かりました。私も医療提供体制のさらなる拡充は、日立医療圏にとって重要な課題ですので今年も継続して取り組みたいと思います。また今年の国会では、地方自治体の情報システムの標準化や風水害対策などが議題に上る予定です。また、地域経済を支える中小企業支援策などにも注力したいと思います。役所の各担当部署のお力もお借りしながら、地域の実態を国に伝えていきたいと思いますので、ぜひご協力をお願いいたします。

2021年の抱負

浅野 最後に、今年は延期されていた東京オリンピック・パラリンピックが開催される予定です。今年こそ新型コロナウイルス感染症の話題ばかりでなく、明るい話題もたくさん生まれる良い年にしていきたいものですが、今年一年間の目標や抱負があれば聞かせてください。

小川 昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な場面で制限を強いられるなど、困難な状況が続いた一年でありましたが、こうした一方で市民の皆様をはじめ、多くの方々のご支援とご協力により、市政における重要事業も力強く推進することができました。また、市のまちづくりの指針となる「第2期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」がスタートしました。本年も、本計画を基に、本市独自の歴史や文化、魅力などの「ひたちらしさ」を活用した施策を推進し、「住みたいまち」「住み続けたいまち」として、多くの方々から選ばれ続けることができますよう、人口減少等の様々な課題の解決に一層の努力を重ねてまいります。

本年も新型コロナウイルス感染症との戦いは続くものと考えておりますが、市民の皆様笑顔あふれる日々のため、皆様の安全・安心の確保と市民生

活、地域経済への支援に全力で取り組んでまいります。

そして、すべての世代の方々が、希望を胸に、生き生きと輝き続けられるまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、浅野議員をはじめ、皆様方におかれましては、引き続きましてのご支援とご協力をお願い申し上げます。

浅野 2020年は地域社会のあり方や経済・産業にとって大きなターニングポイントでした。私自身はこの変化を将来の発展につなげていくためにも、改めて、「健康」と「教育」にも目を向けていく1年にしたいと思います。本日はありがとうございました。

今年も各級議員団が一致結束し、地域活性化を進めてまいります。



茨城県議会議員
さいとう ひであき
齋藤 英彰



茨城県議会議員
たかやす ひろあき
高安 博明



日立市議会議員
あおき しゅんいち
青木 俊一



日立市議会議員
いとう けんや
伊藤 健也



日立市議会議員
すけがわ さとる
助川 悟



日立市議会議員
しらい あつし
白石 敦



日立市議会議員
かすや けい
粕谷 圭



日立市議会議員
ほりえ のりか
堀江 紀和



日立市議会議員
とよだ しげる
豊田 茂



高萩市議会議員
おおashi こうじ
大足 光司



北茨城市議会議員
いまい みちえ
今井 路江



北茨城市議会議員
すずき やたろう
鈴木 弥太郎



東海村議会議員
おち たつや
越智 辰哉



東海村議会議員
みかみ おさむ
三上 修

浅野さとし後援会は、**新規会員を募集しています!**

浅野さとしと一緒に、地域に寄り添い、明るい未来をつくっていきましょう!

後援会入会をご希望の方は、氏名・ご住所・電話番号をTEL又はFAX、メールにてお知らせください。あらかじめ事務局から、会則・会費納入先などをご連絡させていただきます。

お申込み先⇒浅野さとし後援会 日立事務所

■ 広報板設置ご協力をお願い ■

ポスターを掲示していただける方を探しています。所有地(空地や畑など)やご自宅の塀などに設置していただけたら、浅野さとし後援会日立事務所までお気軽にご連絡ください。ご協力宜しくおねがいします。

広報板大きさ 90cm×90cm

浅野さとし 略歴

▶1982年9月生まれ(38歳)、衆議院議員(1期)
(株)日立製作所日立研究所研究員
日立労組研究所支部執行委員
大畠章宏 前衆議院議員秘書



SNSにて日々、情報発信中! 浅野さとしの活動をぜひご覧ください!



YouTube



Facebook



Instagram



Twitter



LINE

